

ベトレヘムの園病院 バランス・スコアカード (BSC: 中長期事業計画に係る数値目標) (平成29年～31年度)

中期展望	人生の最後の時期を尊厳を持って過ごす為の医療・介護の提供と、地域における公益的な取組という使命に全力で取り組んでいく。							
戦略	職員体制の一段の充実を図りつつ、建物・設備の維持管理への投資は計画的かつ継続的に実施していく。 経営基盤を安定したものとするためには、全ての職員が同じ方向性を持ってそれぞれの場で努力を積み重ねること、つまり「ベクトル合わせ」が不可欠であると考える。							
区分	イメージ図 (4つの視点の連鎖関係)	目標	主な成果 (※赤字は新規テーマ)	業績評価の指標	H29年度 実績	H30年度 目標	H31年度 目標	アクションプラン (改善活動の計画)
患者の 視点		療養病院としての存在意義の確立	全職員が同じ方向に向かう「ベクトル合わせ」の実現	「ベクトル合わせ」をテーマにした研修会の開催回数	2回	3回	3回	中期経営計画の策定、BSCに基づく数値目標設定。 全職員参加型を指向
		無料低額診療の充実 (生活保護・障害・減免)	無料低額診療実績の増進	無料低額事業比率 (国十都基準の合計)	20%	21%	22%	社会福祉法人の使命として、 無料低額診療対象の患者受入れの継続的強化
		地域信頼度の向上	就労訓練事業所としての認知 無料健康相談の常時実施	就労訓練活動の年延べ回数 健康相談受入人数	50回 150名	150回 180名	300回 200名	社会福祉充実残額を活用する基幹事業へ育成 多職種協働による患者サポート体制強化
		患者・家族満足度の向上	地域における公益的な取組の実績拡充	患者アンケート結果 (満足・やや満足の合計)	3テーマ	6テーマ	8テーマ	各取組の 安定化を保証する人員の確保 常に 新しい視点を持ったテーマ の模索
財務の 視点		安定的な利益確保	適正な利益の確保	当期利益率 (収入に対する純利益率)	4.0%	5.0%	5.0%	病床稼働率と患者単価の推移を月次管理 適正な利益を確保していく
		収益とのバランスを意識した投資	効率的な設備投資の実践	総資本利益率(ROA) (設備投資の利益貢献度合)	4.5%	5.0%	5.0%	投下資本の収益性を常に意識 し、収入とのバランスを重視した投資の実現
内部 プロセスの 視点		医療の質改善への努力	QI(クォリティー・インディケーター) による質改善の実績拡充	ホームページに掲載する QIの指標数	3指標	10指標	20指標	私たちの 質改善の取組を「見える化」 させる 質向上の達成を モチベーション向上に繋げる
		人材(職員)の充実	職員充足度の向上	職員充足度 (基準のあるものは対基準比)	130%以上	130%以上	130%以上	配置基準に対して、 常に余力ある配置 を維持 できるように、HPを充実させ、採用活動を強化
		業務の効率化	職員の「生産性」の向上	一人当たり売上高の伸び率 (前年度比)	+2%	+0.5%	±0%	職員一人ひとりが、 業務の質と効率のバランス を常に意識するよう働きかける
学習と 成長の 視点		外部発信と人材育成	質改善の取組の内・外 への積極的な発信	研修・学会の発表演題数 (院内研究発表を含む)	9題	12題	15題	研究や取組みの成果を内外の学会や勉強会 で発信し続ける
		建設的で生産的な 組織風土の構築	科別BSCと個々の新しい 目標設定・管理の導入	科別BSCの導入率 個々の目標設定・管理の 導入率	0% 0%	30% 30%	70% 70%	科別BSCの導入 と、BSCに連動した 個々の 目標設定・管理システムの導入 を進める